

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2018年9月）1,542,450TEU（9.3%増）（2017年9月：1,410,956TEU）

・《累計では前年同期比5.2%増で過去最高、貿易戦争の影響はまだ見えず》

復航（2018年7月）527,199TEU（4.5%増）（2017年7月：504,540TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比9.3%増で2か月ぶりのプラス。2018年9月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比40.2%増の2,860ドル/TEUで4か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.5%増で、5か月連続のプラス。2018年9月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比5.4%増の780ドル/TEUで3か月連続のプラス。

欧州航路 往航（2018年8月）1,383,636TEU（2.4%減）（2017年8月：1,418,328TEU）

・《1～8月累計では、統計開始以来、最高》

復航（2018年8月）588,248TEU（8.0%減）（2017年8月：639,542TEU）

・《1～8月累計では、昨年の最高値に次ぐもの》

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比2.4%減で4か月連続のマイナス。2018年9月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比5.2%増の1,210ドル/TEUで7か月ぶりのプラス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比8.0%減で2か月連続のマイナス。2018年9月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年比16.7%減の900ドル/TEUで6か月連続のマイナス。

日中航路 往航（2018年8月）961,075トン（前年同）（2017年8月：961,001トン）

復航（2018年8月）1,774,585トン（3.2%減）（2017年8月：1,832,806トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年同。金額ベースでは前年比9.0%増の7,313億円で6か月連続のプラス。2018年9月の横浜-上海間の運賃前年同の380ドル/TEU。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比3.2%減で3か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比5.8%増の11,257億円で5か月連続のプラス。2018年9月の上海発-横浜向の運賃は前年同の630ドル/TEU。

アジア域内航路 （2018年8月）3,680,800TEU（1.9%増）（2018年8月：3,612,200TEU）

- CTS社による集計では、前年比1.9%増となる368.1万TEUで5か月連続のプラス。2018年9月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比5.8%減の733ドル/FEUで6か月連続のマイナス。
- なお、アジア域内航路を取りまとめているIADAは2018年2月末をもって休止。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*, 2018に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

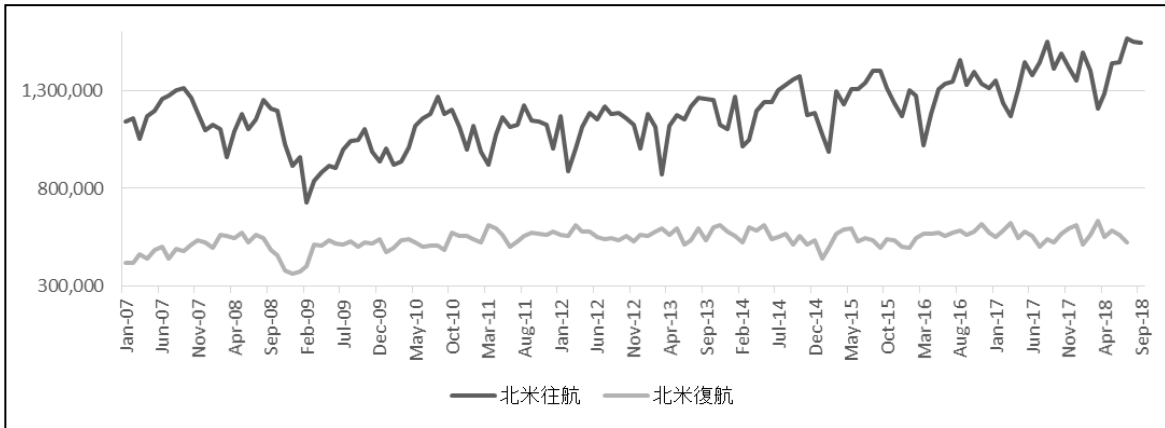


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

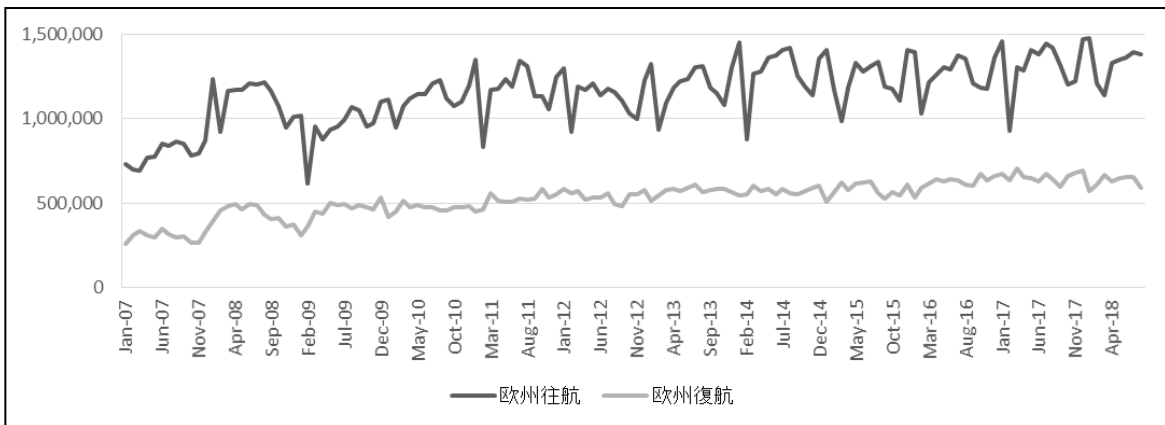


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

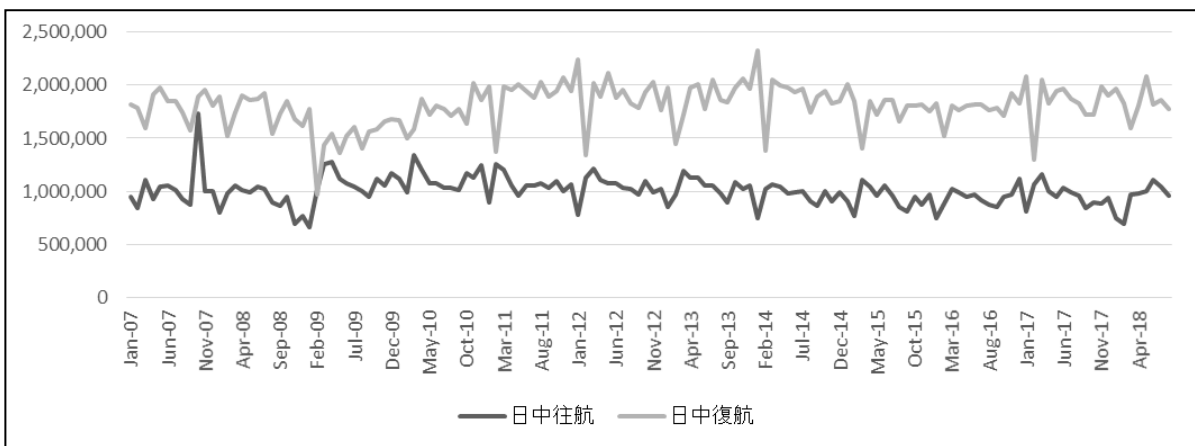


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

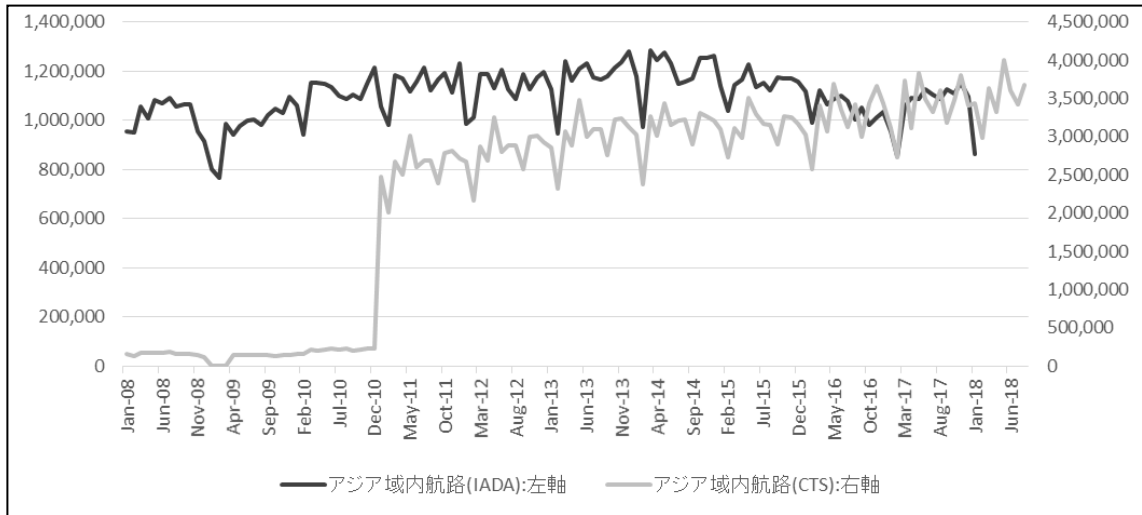


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

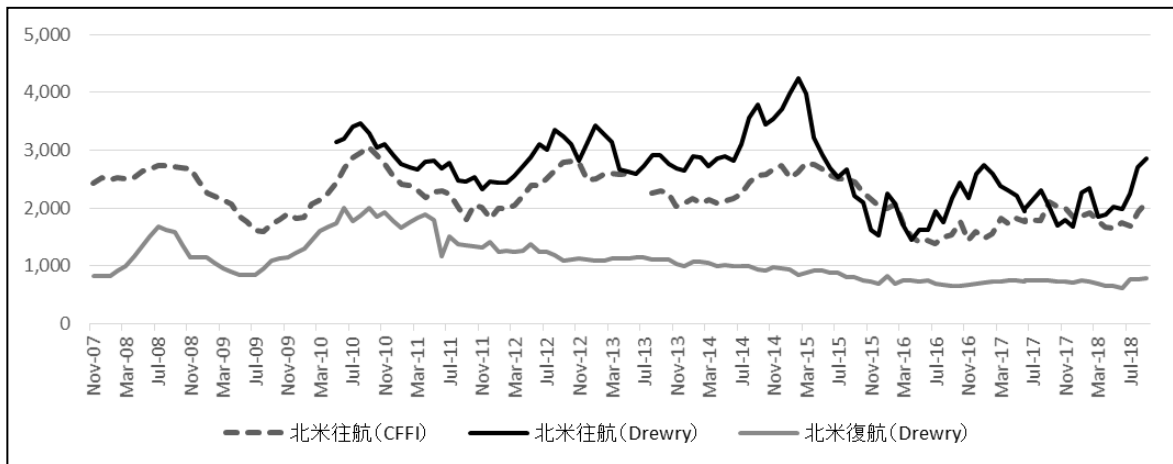


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位: ドル/TEU)

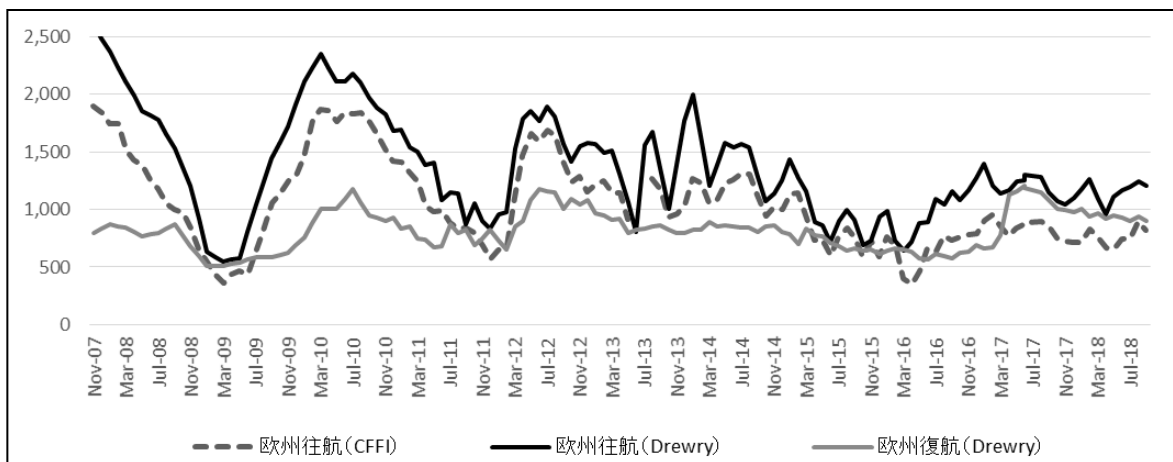
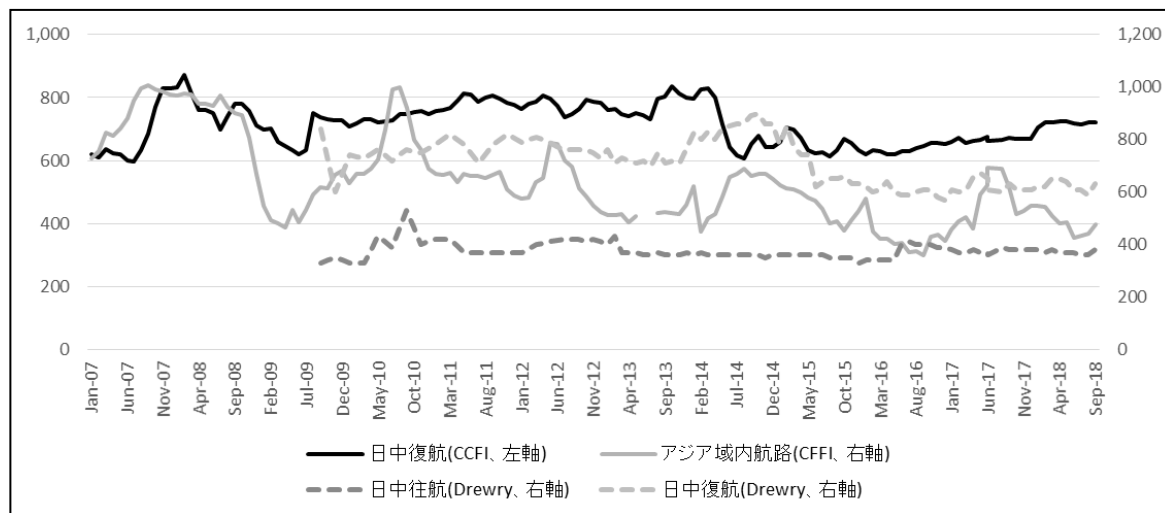


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸)、ドル/TEU (右軸))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数((CFFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CFFI) と示した列)) : **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>